



Cisco IP Phone 7914 拡張モジュール 電話ガイド

ライセンスおよび保証

- 1 Cisco IP Phone 7914 拡張モジュールの概要
- 2 7914 拡張モジュールの取り付け方法
- 3 7914 拡張モジュールの機能
- 4 7914 拡張モジュールの使用方法
- 5 7914 拡張モジュールのトラブルシューティング
- 6 7914 拡張モジュールの技術仕様
- 7 詳細情報
- 8 シスコ製品のセキュリティの概要
- 9 テクニカル サポート
- 10 シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定



1 Cisco IP Phone 7914 拡張モジュールの概要

Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914はCisco IP Phoneに取り付けて使用するもので、14本の回線表示またはプログラマブルボタンを電話機に追加します。Cisco IP Phone に2台目の拡張モジュールを取り付けると、合計で28本の回線表示またはプログラマブルボタンが電話機に追加されます。

プログラマブルボタンの使用により、短縮ダイヤル番号を設定、または電話サービスにアクセスできます。



(注) サポートされている電話機のモデルの最新情報については、システム管理者に問い合わせてください。

図 1 拡張モジュールを2台取り付けた Cisco IP Phone 7960G



始める前に

7914 拡張モジュールを取り付ける前に、次の各項を参照してください。

- パッケージの内容 (P. 3)
- フットスタンドキット (P. 3)
- その他の器具 (P. 4)
- 安全情報 (P. 4)

パッケージの内容

パッケージに次の製品が揃っていることを確認してください。

- Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914 : 1 台
- インターフェイス ケーブル : 1 本
- 本書 (『Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914 電話ガイド』)

フットスタンドキット

パッケージに含まれる製品に加えて、フットスタンドキットも必要です (別途注文品)。7914 拡張モジュールを 1 台だけ取り付ける場合、シングルフットスタンドキットが必要です。7914 拡張モジュールを 2 台取り付ける場合は、ダブルフットスタンドキットが必要です。フットスタンドキットには次の部品が含まれます。

- サポート バー 1 本 (シングルには取り付けネジが 1 本、ダブルには 2 本付き)
- フットスタンド 1 個

その他の器具

さらに、次の器具が必要です。

- 小型のマイナス ドライバ：取り付け時に使用します。
- 電源装置：取り付ける拡張モジュールの数と、Cisco IP Phone への電力の供給方法に応じて、次の電源装置が必要です。

イーサネット経由で Cisco IP Phone に電力を供給する場合	1 ～ 2 台の拡張モジュールに対して、電源装置が 1 つ必要です（別途注文品）。
電源から Cisco IP Phone に電力を供給する場合	拡張モジュールが 1 台の場合、電源装置は必要ありません。 拡張モジュールが 2 台の場合、電源装置が 1 つ必要です（別途注文品）。



(注) シスコによって保証されていない電源装置を使用した場合、正しく機能しない可能性があります。また、7914 拡張モジュールの製品保証は無効になります。

安全情報

7914 拡張モジュールの安全上の警告を次に示します。7914 拡張モジュールの取り付けまたは使用前に、これらの注意事項を読んでください。警告の翻訳版については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco IP Phone 7900 Series*』を参照してください。

7914 拡張モジュールの取り付けおよび使用方法

7914 拡張モジュールを取り付ける前、または使用する前に、次の安全上の注意事項を読んでください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

設置方法を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この製品を最終的に廃棄するときは、国内の法律および規制すべてに従って処理する必要があります。



警告

雷が発生している間は、システムに対する作業、またはケーブルの着脱作業は行わないでください。



警告

感電事故を防止するため、**safety extra-low voltage (SELV; 安全超低電圧)**回路を **telephone-network voltage (TNV; 電話網電圧)**回路に接続しないでください。LANポートには SELV 回路があり、WANポートには TNV 回路があります。一部の LANポートおよび WANポートは、RJ-45 コネクタを使用します。ケーブルを接続する場合には、注意してください。

外部電源装置の使用

7914 拡張モジュールで外部電源装置を使用する場合は、次の警告が適用されます。



警告

この製品は、短絡（過電流）に対する保護を建物の設備に依存しています。120VAC、15A 以下（米国）、または 240VAC、10A 以下（その他の国）のヒューズまたは回路ブレーカーが電圧線（電流が通る導体全部）に使用されていることを確認してください。



警告

この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。



警告

プラグとソケットは、常にアクセスできる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。



警告

電源装置は室内に設置する必要があります。



注意

この製品には、シスコ認定の電源装置だけを使用してください。

2 7914 拡張モジュールの取り付け方法



(注) 7914 拡張モジュールを確実に取り付けるには、必ず P. 3 の「始める前に」の記載事項をすべて読んでください。

7914 拡張モジュールを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. Cisco IP Phone からのフットスタンドの取り外し
2. Cisco IP Phone へのサポートバーの取り付け
3. サポートバーへの 7914 拡張モジュールの取り付け
4. インターフェイスケーブルの接続
5. 電源装置の接続
6. フットスタンドの取り付け
7. ラップトップケーブルロックの取り付け（オプション）

手順の概要は上のおりですが、各手順の詳細については、以降の説明および対応する図を参照してください。

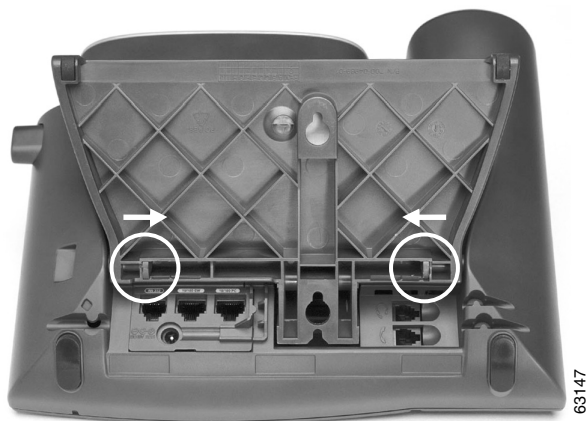


注意 確実に取り付けるには、電話機に 7914 拡張モジュールを取り付ける準備ができているかどうか、および **Cisco CallManager** がインストールされて 7914 拡張モジュール用に設定されているかどうかをシステム管理者に確認してください。また、必要な部品がすべて揃っているかどうかを確認してください（P. 3 の「始める前に」を参照）。

Cisco IP Phone からのフットスタンドの取り外し

図 2 および次の手順を参照してください。

図 2 フットスタンドの取り外し



-
- ステップ 1** Cisco IP Phone のネットワーク接続および電源接続を外します。
- ステップ 2** 受話器を外し、ヘッドセットが電話機に取り付けられている場合はヘッドセットも外します。
- ステップ 3** Cisco IP Phone を裏返して、電話機に傷がつかないように安全で平らな場所に置きます。
- ステップ 4** フットスタンドに付いている 2 つのフット ピンを探します。
- ステップ 5** マイナス ドライバを使用して、片方のフット ピンを慎重に押し込んでから外します。次に、もう片方のフット ピンも慎重に押し込んでから外します。



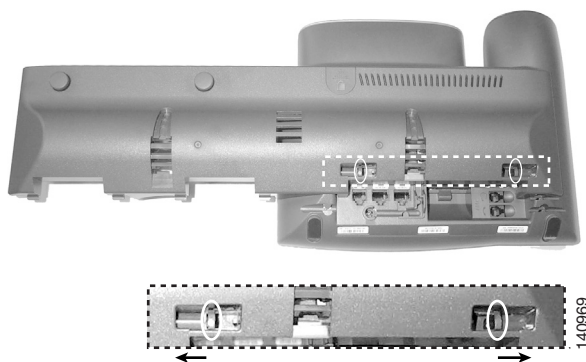
- (注) フット ピンを押し込むときは、Cisco IP Phone を持ち上げてしっかりと支える必要があります。自分の体と反対方向に向けて押し込んでください。

ステップ 6 フットスタンドを外して、別の場所に置いておきます。

Cisco IP Phone へのサポートバーの取り付け

図 3 および次の手順を参照してください。

図 3 サポートバーの取り付け



- ステップ 1** 電話機と重なるように、Cisco IP Phone の裏面にサポートバーを置きます。
- ステップ 2** 2つのコネクタ ピンの位置を確認します。
- ステップ 3** マイナス ドライバを使用して、サポートバーが Cisco IP Phone にしっかり留まるように、各コネクタ ピンを慎重に押し込みます。

サポートバーへの 7914 拡張モジュールの取り付け

図 4 および次の手順を参照してください。

図 4 拡張モジュールの取り付け



1	7914 拡張モジュールのオープン スロット
2	サポートバーのフック
3	取り付けネジ



-
- ステップ 1** 電話機の表が上になるように、電話機を置きます。
- ステップ 2** 7914 拡張モジュールの下部にある 2 つのオープンスロットと、サポート バーの 2 つのフックの位置を合せます。
- ステップ 3** スロットにフックを差し込み、7914 拡張モジュールをサポート バーの方へ倒してバーと重なるようにします。
- ステップ 4** 7914 拡張モジュールの裏側の取り付けネジを、きつく絞めます。



(注) 拡張モジュールを 2 台取り付ける場合は、2 台目の拡張モジュールにもステップ 2、3、および 4 を実行します。

インターフェイス ケーブルの接続

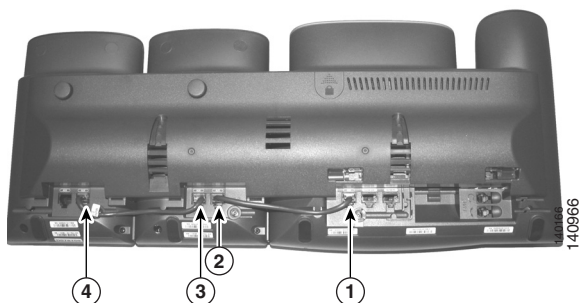
AUX ジャックの「in」アイコンおよび「out」アイコンについては、次の表を参照してください。また、図 5 およびその次の手順も参照してください。

In アイコン	Out アイコン
	



(注) ご使用の Cisco IP Phone または 7914 拡張モジュールでは、AUX ジャックは RS-232 と表示されていることがあります。この場合、図 5 およびこの項のステップ 1～4 の AUX ジャックを「RS-232 ジャック」としてください。

図 5 インターフェイス ケーブルの接続



1	Cisco IP Phone の AUX ジャックへインターフェイス ケーブルを接続
2	拡張モジュール 1 の「in」アイコンがついた AUX ジャックへインターフェイス ケーブルを接続
3	拡張モジュール 1 の「out」アイコンがついた AUX ジャックへ 2 本目のインターフェイス ケーブルを接続
4	拡張モジュール 2 の「in」アイコンがついた AUX ジャックへ 2 本目のインターフェイス ケーブルを接続

ステップ 1 インターフェイス ケーブルの先端を Cisco IP Phone の AUX と書かれているジャックに差し込みます。

ステップ 2 インターフェイス ケーブルの反対側の先端を 7914 拡張モジュールの下部にある「in」アイコンがついた AUX ジャックに差し込みます。



(注) 7914 拡張モジュールを 2 台取り付けている場合は、ステップ 3 とステップ 4 に進みます。拡張モジュールが 1 台だけの場合は、P. 13 の「電源装置の接続」に進みます。

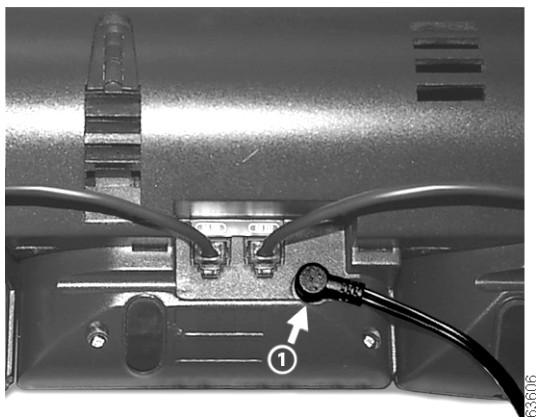
ステップ3 2本目のインターフェイスケーブルの先端を1台目の拡張モジュール（電話機に近い方）の下部にある「out」アイコンがついたAUXジャックに差し込みます。

ステップ4 2本目のインターフェイスケーブルの反対側の先端を2台目の拡張モジュール（1台目の拡張モジュールの隣にあるもの）の下部にある「in」アイコンがついたAUXジャックに差し込みます。

電源装置の接続

図6 および次の手順を参照してください。

図6 電源装置の接続



1 拡張モジュールの背面にある電源装置コネクタ

ステップ 1 1 台または 2 台の拡張モジュールを取り付けた Cisco IP Phone への電力の供給方法に応じて、次のいずれかの操作を実行して電源装置を接続します。

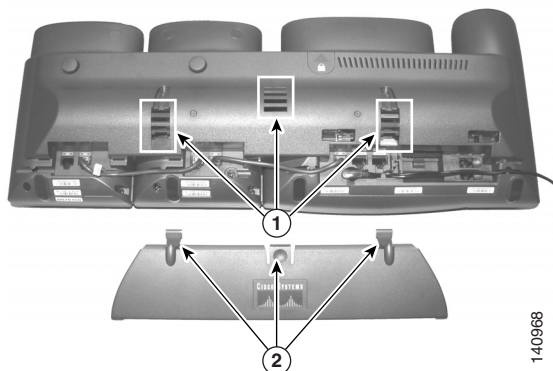
- 1 台の拡張モジュールを取り付けた Cisco IP Phone に、イーサネット経由で電力を供給する場合：
 - 拡張モジュールの AC アダプタ ポートに電源装置を接続して、反対側の先端を壁面にあるコンセント（標準）に差し込みます。
- 2 台の拡張モジュールを取り付けた Cisco IP Phone に、イーサネット経由で電力を供給する場合：
 - Cisco IP Phone に近い方の拡張モジュールの AC アダプタ ポートに電源装置を接続して、反対側の先端を壁面にあるコンセント（標準）に差し込みます。
- 1 台の拡張モジュールを取り付けた Cisco IP Phone に、電源から電力を供給する場合：
 - Cisco IP Phone の AC アダプタ ポートに Cisco IP Phone の電源装置を再接続して、反対側の先端を壁面にあるコンセント（標準）に差し込みます。
- 2 台の拡張モジュールを取り付けた Cisco IP Phone に、電源から電力を供給する場合：
 - Cisco IP Phone に近い方の拡張モジュールの AC アダプタ ポートに 2 つ目の電源装置を接続して、反対側の先端を壁面にあるコンセント（標準）に差し込みます。

ステップ 2 Cisco IP Phone の受話器およびネットワークを再接続します。

フットスタンドの取り付け

図7 および次の手順を参照してください。

図7 フットスタンドの取り付け



1	サポートバーのスロット
2	フットスタンドのフック

ステップ1 フットスタンドに付いている3つのフックの位置を確認します。

ステップ2 それらのフックと、サポートバーのオープンスロットの位置を合せます。



(注) サポートバーには、3つで1組のオープンスロットが4つあります。4つのオープンスロットのいずれかにフックを差し込むことによって、フットスタンドの角度を調節できます。

ステップ3 サポートバーにフットスタンドのフックを差し込んでから、少し押し込んで取り付けます。

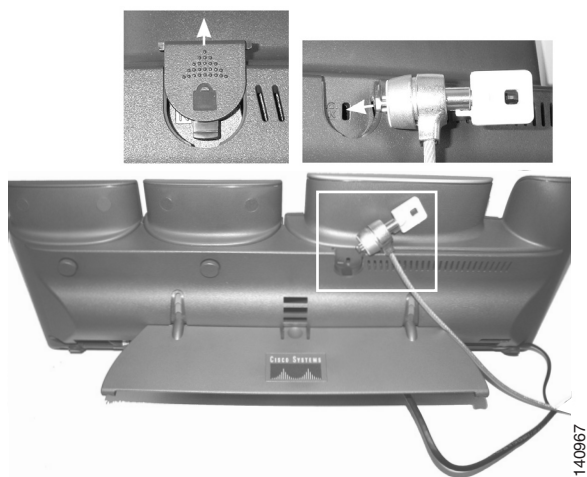
ラップトップケーブルロックの取り付け(オプション)



(注) 背面にセキュリティ スロットがある電話機だけをサポートしています。詳細については、システム管理者に問い合せてください。

図 8 および次の手順を参照してください。

図 8 ラップトップケーブルロックの取り付け



ステップ 1 ケーブル ロック ドアをサポート バーから取り外します。

ステップ 2 セキュリティ ケーブルをデスクトップに固定します。

ステップ 3 ラップトップケーブルロックを電話機の背面にあるセキュリティ スロットに挿入したら、ロックをしてキーを取り外します。

起動時の状態

7914 拡張モジュールを取り付けると、起動時にボタンがすべて赤く点灯します。次に LCD スクリーンがリフレッシュして、ボタンがすべてオフとなり、回線の状況が LCD スクリーン上に表示されます。この状態になったら拡張モジュールの使用を開始できます。

3 7914 拡張モジュールの機能

7914 拡張モジュールは、次の機能を備えています。



1	<p>電話機のスクリーン：電話番号、短縮ダイヤル番号（または名前やその他のテキストラベル）、電話サービス、または各ボタンに割り当てられたプライバシーを表示します。また、回線の状態を示すアイコンも表示します。これらのアイコンは Cisco IP Phone のアイコンと同様のデザインと機能を持っています。</p>
2	<p>ライト ボタン：ボタンは 14 個あります。Cisco IP Phone 上のボタンと同様、各ボタンは 1 つの回線に対応しています。各ボタンのライトは、対応する回線の状態を次のようなルールで表示します。</p> <p>使用可能な回線：点灯なし 自分が使用中の回線：緑に点灯 他の人が使用中の回線：赤に点灯 呼び出し中の回線：黄に点滅 自分が通話を保留している場合：緑に点滅 他の人が通話を保留している場合：緑に点滅 転送通話：緑に点灯</p>

4 7914 拡張モジュールの使用方法

7914 拡張モジュールは、回線の表示またはプログラマブル ボタンのモジュールとして機能するため、通話中、保留中、および転送要求中のコールの監視、または電話サービスへのアクセスが可能です。コールへの応答、保留および転送など、すべての通話機能は、Cisco IP Phone から実行されます。電話機の使用方法については、Cisco IP Phone の電話ガイドを参照してください。

Cisco IP Phone と 7914 拡張モジュールを組み合わせる場合の一般的なシナリオを次に示します。

内線 12345 の役員宛の電話を受けたとします。7914 拡張モジュールを見ると、その役員が他の人と通話中で、さらにもう 1 つのコールが保留になっています。7914 拡張モジュールの画面を見て、自分のグループのマネージャがちょうど通話を終了し、着信コールに対応可能であることに気付きます。着信コールの発信者に手短かに相談し、そのコールをマネージャへ転送します。

通話情報の非公開設定

プライバシーがボタンの 1 つにプログラムされている場合は、回線を共有しているユーザに対して通話情報を非公開にできます。「Privacy」と表示されたボタンがある場合は、システム管理者によって、この機能が有効にされています。プライバシーのオン/オフを切り替えるには、着信コールを受信したときに Privacy ボタンを押します。プライバシーが有効になっている場合、他の共有回線はそのコールに加わることはできません。詳細については、使用している Cisco IP Phone の電話ガイドを参照してください。

7914 拡張モジュールのボタン設定

Cisco IP Phone と同様、7914 拡張モジュールの電話サービスにアクセスするために、短縮ダイヤル番号またはプログラム ボタンを設定できます。この設定を行う前に、Cisco IP Phone User Options Web ページへのアクセスに必要な次の情報をシステム管理者に問い合せてください。

- URL
- ユーザ名およびパスワード

これらの情報を入手後に、電話サービスにアクセスするための短縮ダイヤル番号またはプログラム ボタンを設定できます。電話サービスでは、天気、株式、または社内カレンダーや社内ディレクトリなどの情報にアクセスできます。

詳細については、使用している Cisco IP Phone の電話ガイドを参照してください。

コントラストの調整

Cisco IP Phone と同様、7914 拡張モジュールのコントラストを調整できます。詳細については、使用している Cisco IP Phone の電話ガイドを参照してください。

5 7914 拡張モジュールのトラブルシューティング

次の表に、7914 拡張モジュールの使用中に問題が発生した場合に役立つ情報を示します。

問題	解決方法
7914 拡張モジュールに何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none">ケーブルがすべて正しく接続されているか、確認してください。7914 拡張モジュールに電源が入っているか、確認してください。
1 台目の 7914 拡張モジュールのボタンがすべて赤く点灯している。	7914 拡張モジュールが Cisco CallManager で定義されているかどうか、システム管理者に確認してください。
2 台目の 7914 拡張モジュールのボタンがすべて黄色く点灯している。	7914 拡張モジュールが Cisco CallManager で定義されているかどうか、システム管理者に確認してください。

上記以外の問題が発生した場合は、システム管理者に問い合わせてください。

6 7914 拡張モジュールの技術仕様

この項では、Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914 の物理的仕様、動作環境仕様、および認定準拠情報について説明します。

物理的仕様および動作環境仕様

仕様	値または範囲
動作温度	32 ~ 104° F (0 ~ 40° C)
動作相対湿度	10 ~ 95% (結露しないこと)
保管温度	14 ~ 140° F (-10 ~ 60° C)
高さ	203mm (8.0 インチ)
幅	121mm (4.75 インチ)
奥行き	51mm (2.0 インチ)
重量	366g (0.82 ポンド)
電力	48VDC (最大 40mA)

ケーブル仕様

- インターフェイス ケーブル接続用 6 ピン コネクタ付き RJ-11 ジャック 2 個。
- 48-V 電源コネクタ。拡張モジュールの電源ジャック (Switchcraft 712A) の中央ピン直径は 2.5mm (0.1 インチ)。中央ピンはプラス (+) 電圧。拡張モジュールの電源ジャックに合う小型の電源プラグは Switchcraft 760 または同等品。

7 詳細情報

次の項では、シスコシステムズのその他のマニュアルの入手先について説明します。

関連マニュアル

次のマニュアルには、追加情報が記載されています。

- 『*Cisco IP Phone Administration Guide for Cisco CallManager*』 : システム管理者が Cisco CallManager で 7914 拡張モジュールを設定する方法について記載しています。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

- Cisco IP Phone の電話ガイド : Cisco IP Phone の使用方法について記載しています。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

- Cisco CallManager のマニュアル : Cisco IP Phone およびサービスを設定する Cisco CallManager Administration アプリケーションの使用法について記載しています。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_callmg/index.htm

技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。また、テクニカルサポートおよびその他のリソースを、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

Product Documentation DVD

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Product Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Product Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。

Product Documentation DVD は、技術情報を包含する製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した、包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、シスコ製の各ハードウェアやソフトウェアのインストール、コンフィギュレーション、およびコマンドに関する複数のバージョンのマニュアルにアクセスし、技術情報を HTML で参照できます。また、この DVD を使用すると、シスコの Web サイトで参照できるのと同じマニュアルに、インターネットに接続せずにアクセスできます。一部の製品については、PDF 版のマニュアルもご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、1 回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ (Cisco Direct Customers) の場合、Cisco Marketplace から Cisco Documentation DVD (Product Number DOC-DOCDVD=) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法（英語版）

2005年6月30日以降、Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store からシスコ製品の英文マニュアルを発注できるようになっています。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍、リファレンス ガイド、マニュアル、およびロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』はシスコシステムズが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンライン サービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』はシスコシステムズの季刊誌で、成長企業が収益を上げ、業務を効率化し、サービスを拡大するためには技術をどのように利用したらよいかを学べるように構成されています。本誌では、事例とビジネス戦略を挙げて、成長企業が直面する問題とそれを解決するための技術を紹介し、読者が技術への投資に関して適切な決定を下せるよう配慮しています。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

デジタル版には、次の URL からアクセスできます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワークング製品、および各種のカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、対話形式の Web サイトです。このサイトでは、ネットワークング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報をネットワークング担当者がシスコの専門家や他のネットワークング担当者と共有できます。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

8 シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル (英文のみ) を無料で提供しています。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトは、次の目的に利用できます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする

シスコ製品に関するセキュリティ勧告および注意事項の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、次の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードにアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合 : security-alert@cisco.com (英語のみ)

緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている場合、または至急の対応を要する重大なセキュリティ上の脆弱性が報告されている場合を指します。これに該当しない場合はすべて、緊急でないと思なされます。

- 緊急でない場合 : psirt@cisco.com (英語のみ)

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 (英語のみ)
- 1 408 525-6532 (英語のみ)



ヒント

シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP (Pretty Good Privacy) または互換製品を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 8.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションからリンクできます。次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページ上のリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。

9 テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを利用することができます。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、シスコと正式なサービス契約を交わしているお客様には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

Web または電話でサービス リクエストを発行する前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して製品のシリアル番号を確認してください。CPI ツールには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトから、Documentation & Tools の下の **Tools & Resources** リンクをクリックするとアクセスできます。アルファベット順の索引ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下の **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックします。CPI ツールには、3 つの検索オプションがあります。製品 ID またはモデル名による検索、ツリー表示による検索、**show** コマンド出力のコピーアンドペーストによる特定製品の検索です。検索結果では、製品が図示され、シリアル番号ラベルの位置が強調表示されます。ご使用の製品でシリアル番号ラベルを確認し、その情報を記録してからサービス コールをかけてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3: ネットワークに軽微な障害が発生した、S4: 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、Cisco TAC のエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1: ネットワークがダウンした、S2: ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、Cisco TAC のエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1): ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストラクション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

10 シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス許諾書を含む正式な保証書は、Cisco.com にあります。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet*、および保証書とライセンス許諾書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、PDF アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注)

PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Warranty Document Number** フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
Cisco warranty ページが表示されます。
- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品のモデル番号	
製品のシリアル番号	
メンテナンス契約番号	

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従つ

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the

Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing, および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar, Aironet, ASIST, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity, Empowering the Internet Generation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers のロゴ、Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StrataView Plus, TeleRouter, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2005, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

CISCO SYSTEMS



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501